

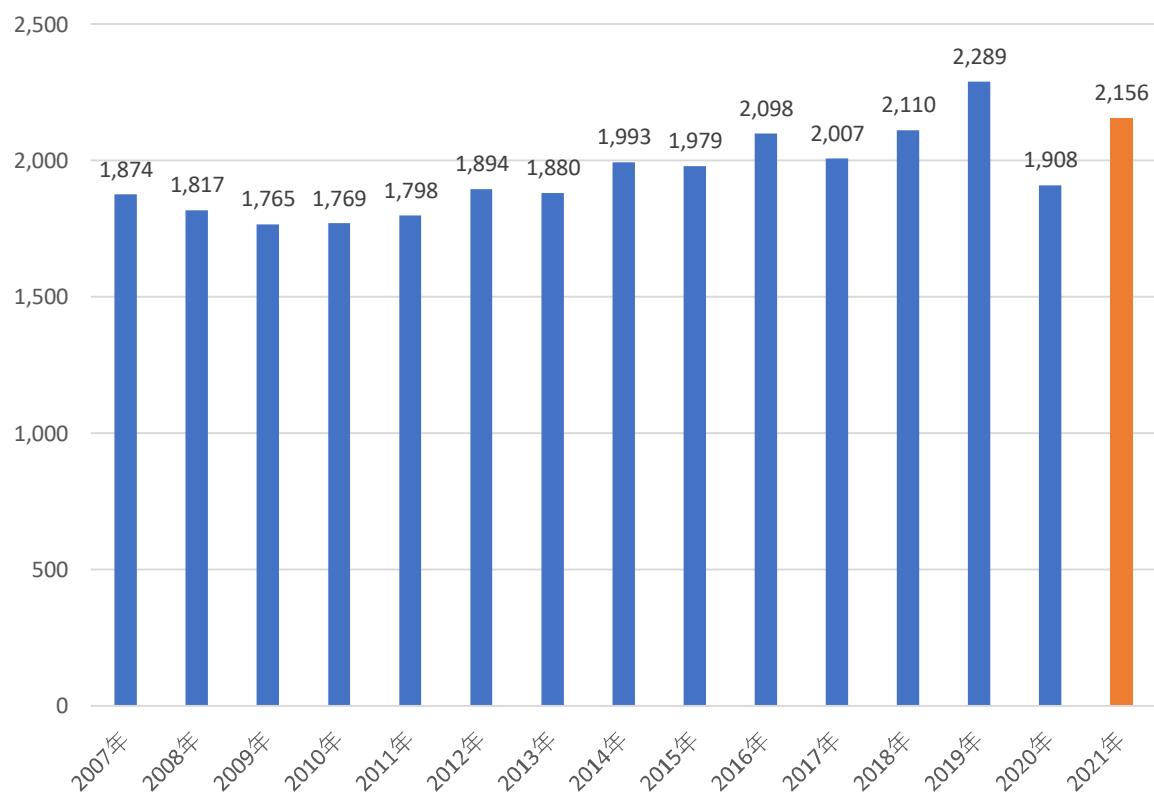
院内がん登録について

院内がん登録とは、入院・外来問わず、各病院で把握された全ての「がん（悪性腫瘍）」について、診断・治療・予後に関する情報を集め、整理・保管し、集計・分析を行う仕組みのことです。各施設で集められたデータは、統一された様式で、国立がん研究センターに定期的に提出しています。

当院では、がん診療連携拠点病院の指定要件に則って、2007年1月1日以降に把握されたがんを登録対象としています。1つの腫瘍に対して1つの登録ですが、登録された症例の再発や転移については、対象となりません。また、脳腫瘍・下垂体腫瘍・髄膜種については、原則として良性であっても対象となっています。

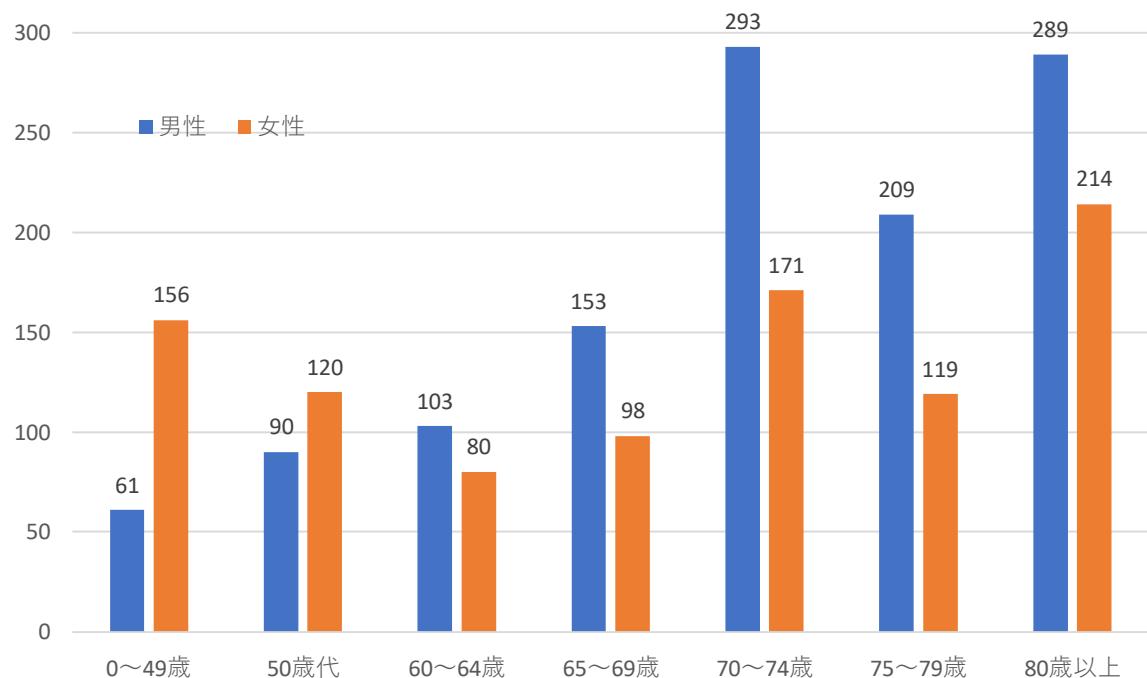
以下に、当院の院内がん登録の2021年症例登録データの集計結果を開示します。

グラフ1 院内がん登録件数の推移



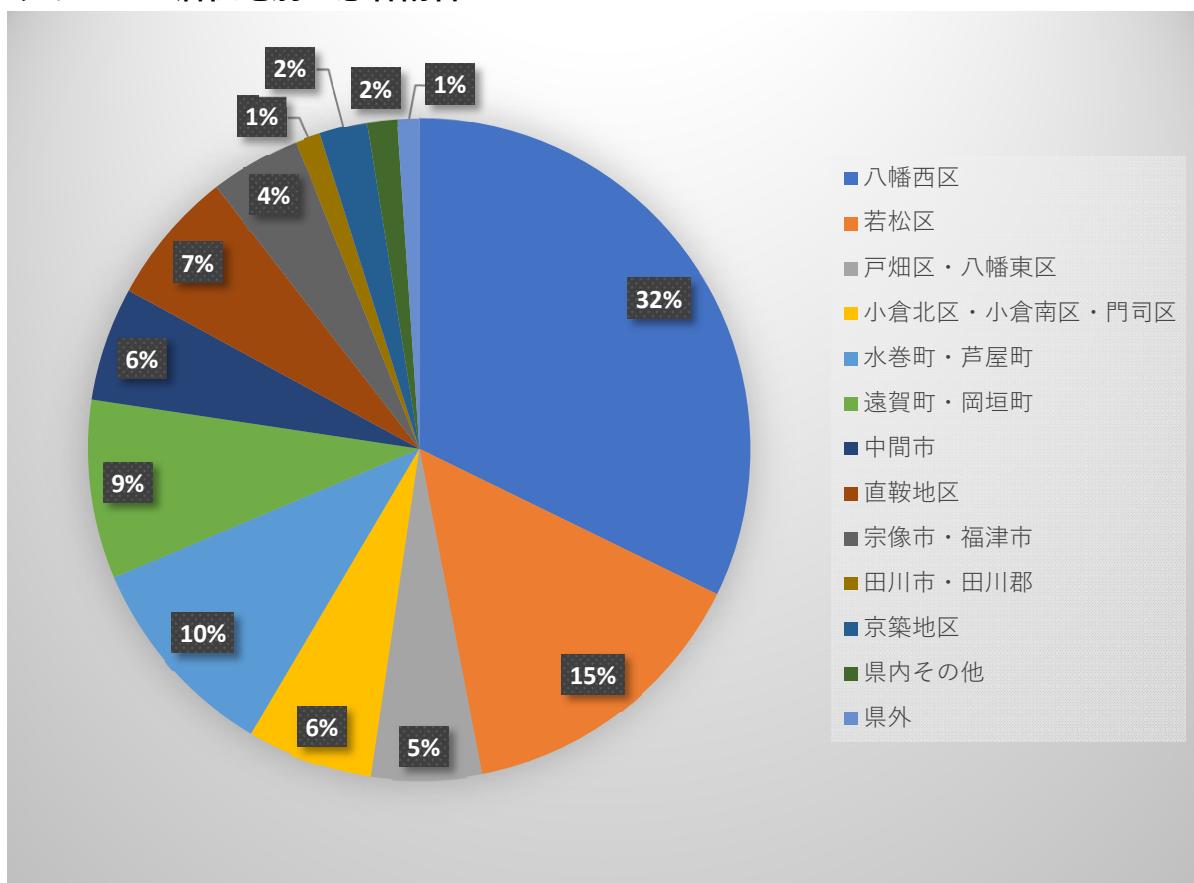
※ 2021年は、前年より登録件数が増えましたが、2019年ほどの登録はありませんでした。まだ新型コロナウイル感染症の影響で受診控えがあったようです。

グラフ2 年代・性別件数



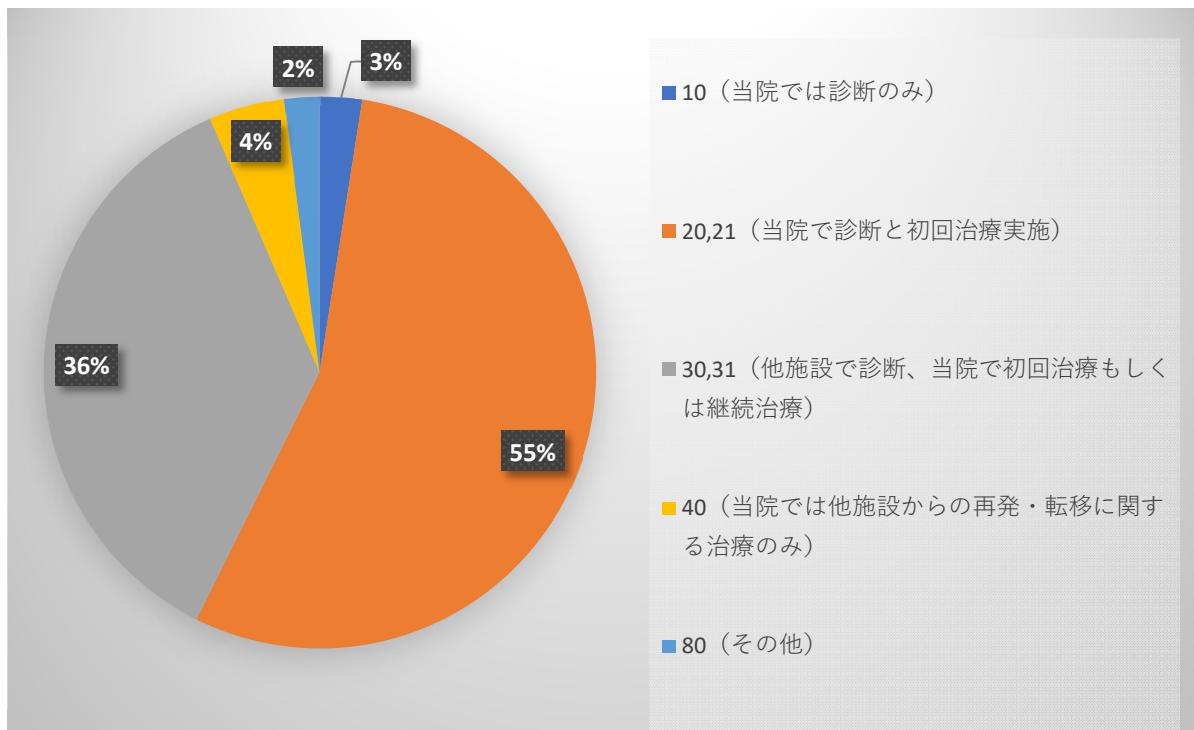
※ 若年層は女性の患者が多く、全体としては65歳以上の患者が多いです。

グラフ3 居住地別の患者割合



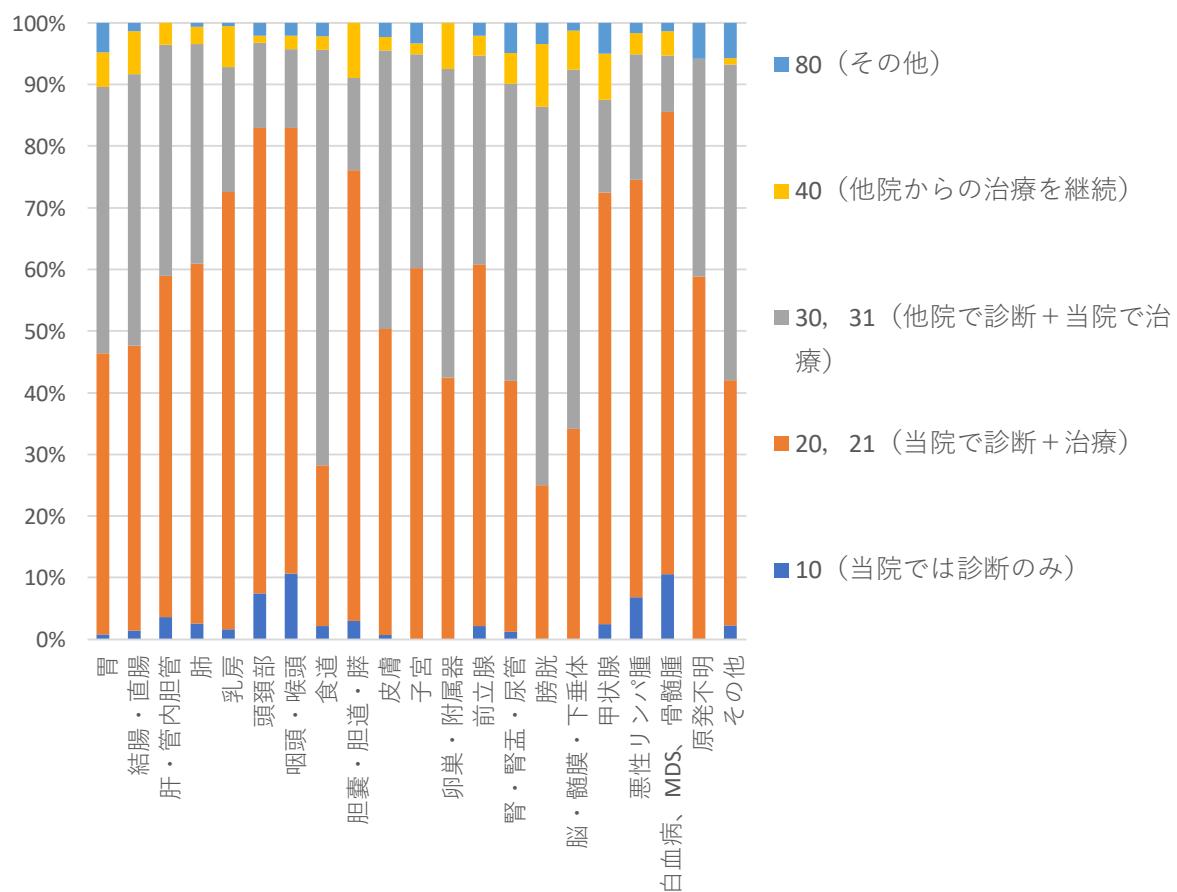
※ 大学病院近隣の八幡西区、若松区、遠賀郡の患者さんで全体の 2/3くらいになりますが、県内外問わず様々な地域から患者さんが来られているようです。

グラフ4 症例区分割合



※ 紹介患者さんも含め、多くの割合で当院で何らかの治療が実施されている割合が高くなっています。

グラフ5 部位別症例区分別の割合

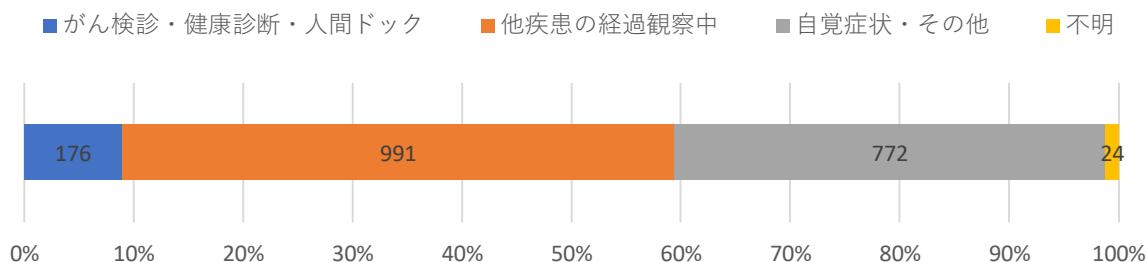


※ 部位により、他院からの紹介割合が多少違うようです。

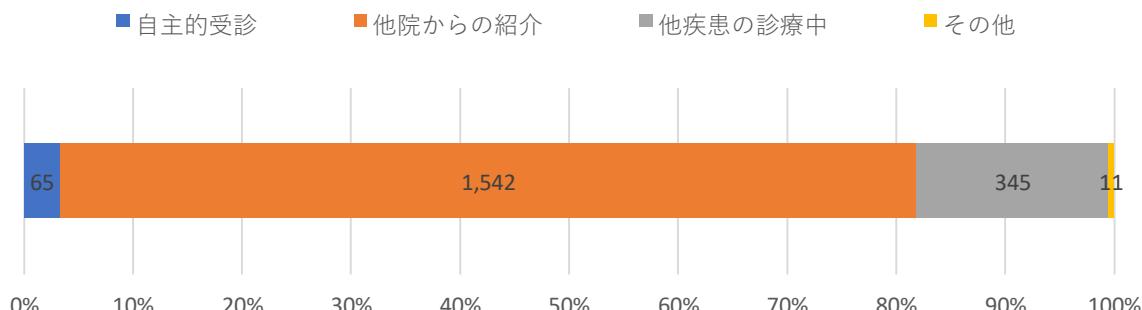
以下は、2021年登録症例のうち、当院にて初回治療を行った **1,963件**（症例区分 20, 21, 30, 31）について集計したものです。

初回治療とは、診断に基づいて計画される初手の治療のことと、具体的にはがん組織に対して何らかの影響（がん組織の増大を止めたり、切除したり、消失させたりする行為）を及ぼす治療を指します。

グラフ6－1 がんを発見するに至ったきっかけの件数と割合

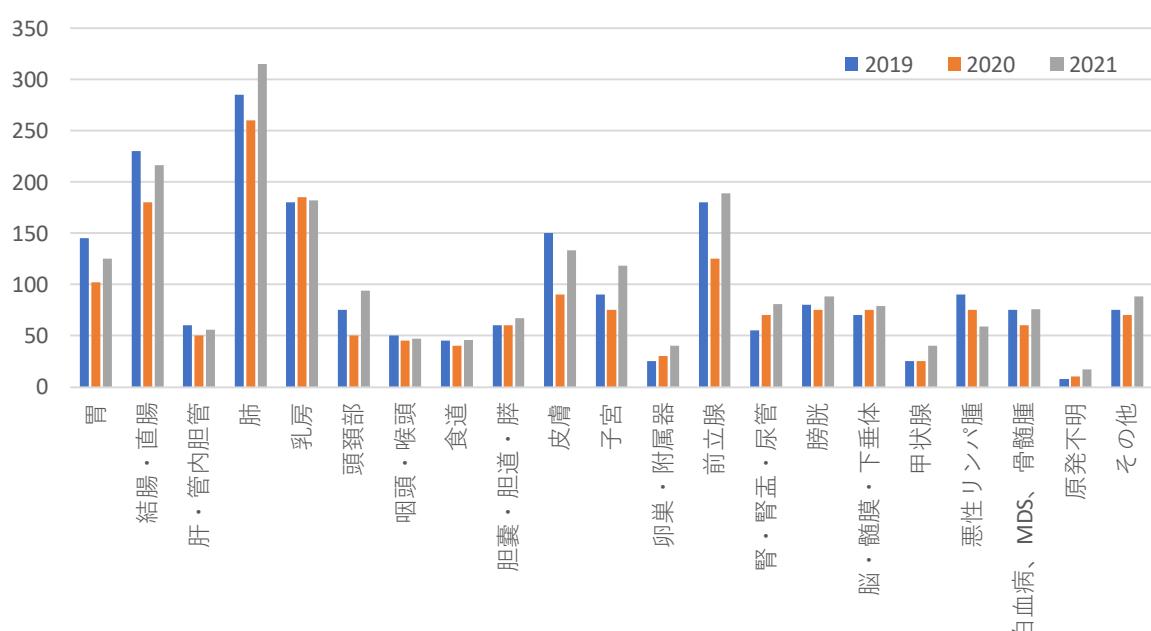


グラフ6－2 当院を受診するに至った経緯の件数と割合

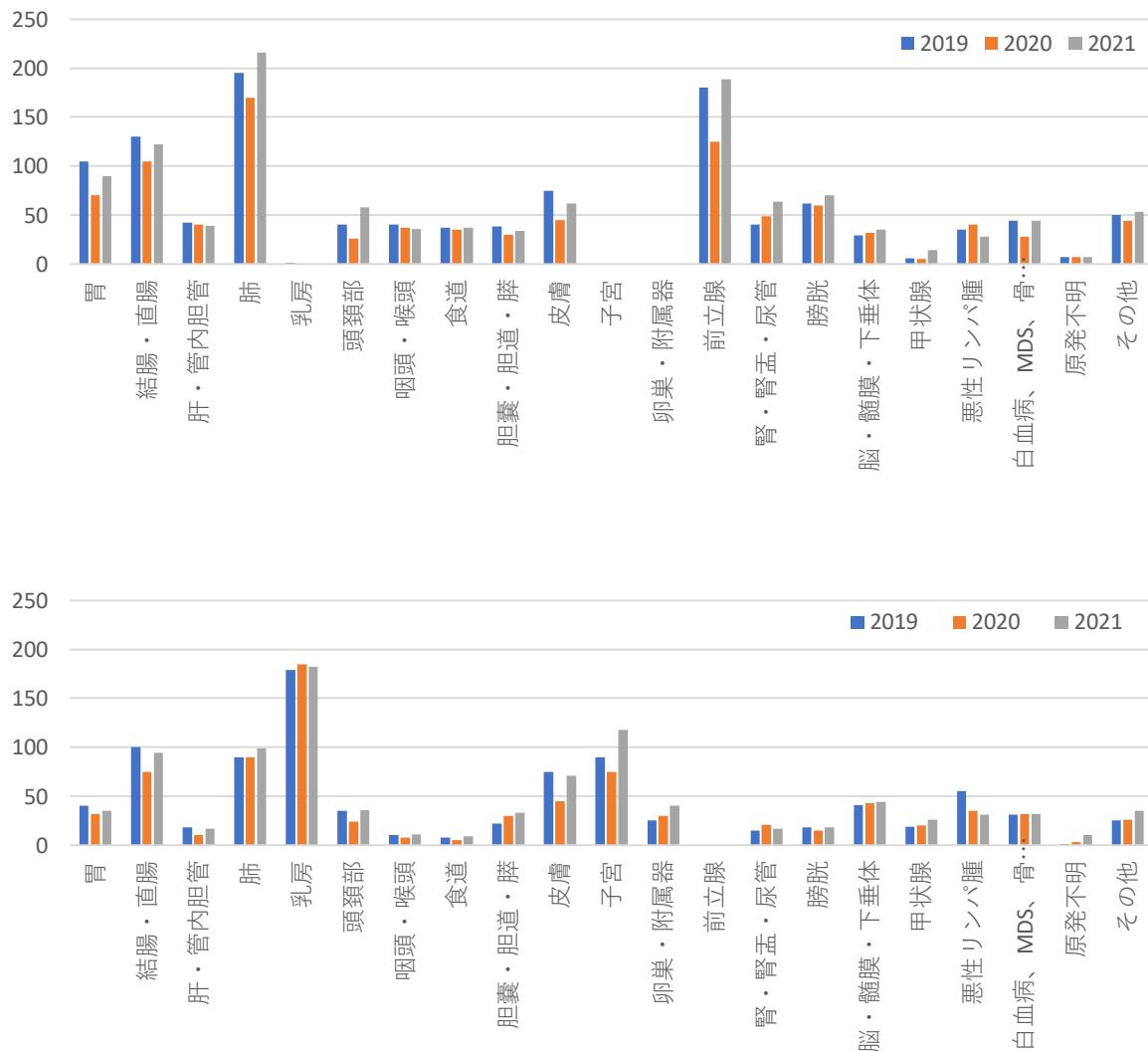


※ 他院からの紹介で受診される方が多いようです。

グラフ7 部位別件数の推移

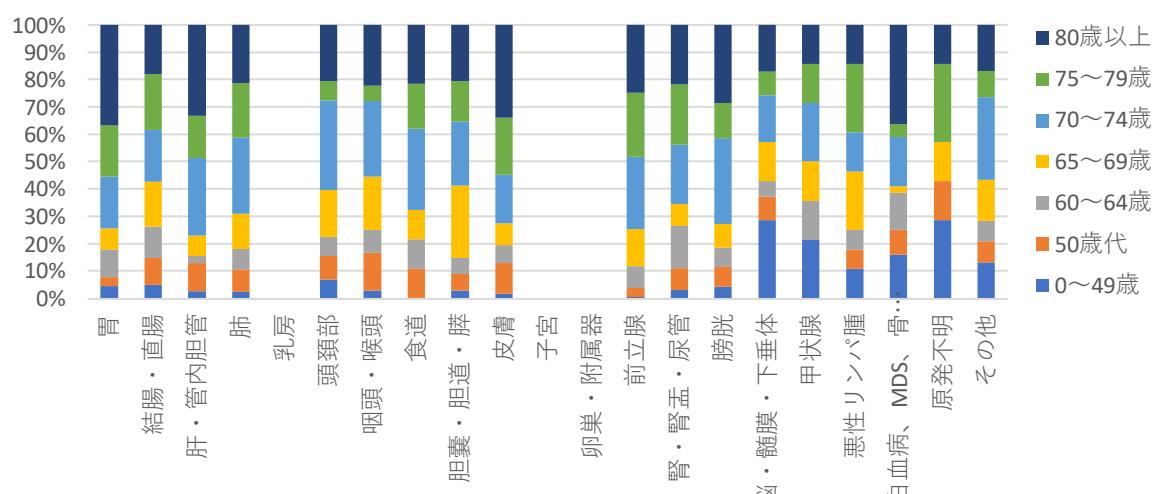


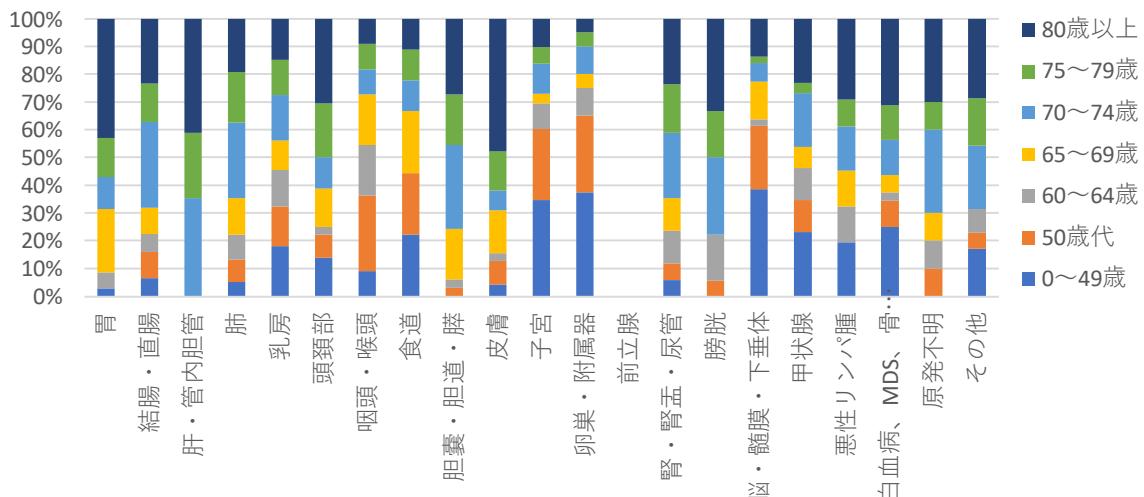
グラフ8 性別による部位別件数の推移（上段：男性、下段：女性）



※ 過去3年間で部位別件数に大きな増減は見られませんが、男性の肺、前立腺、女性の乳房の患者さんが多いようです。

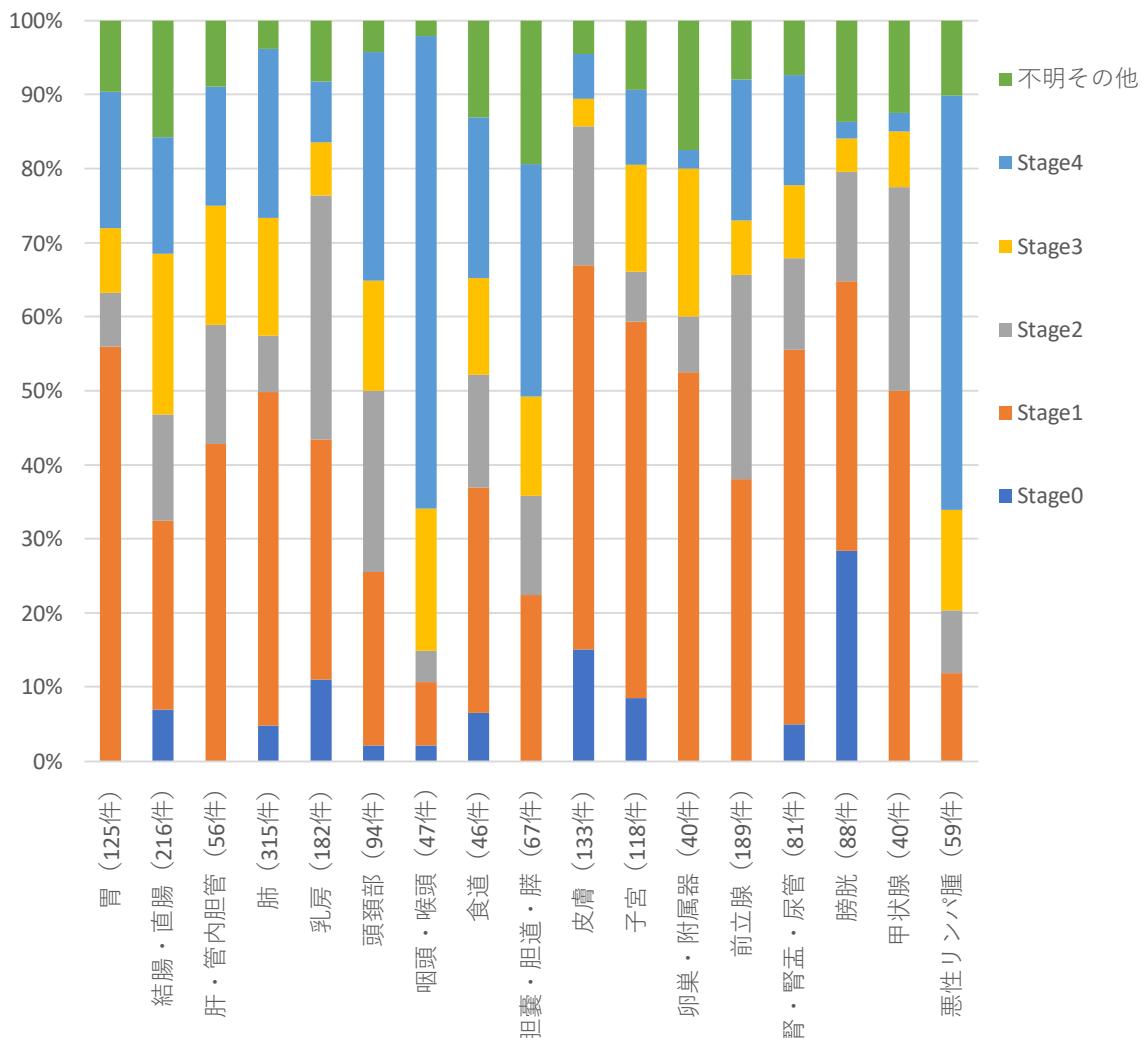
グラフ9 性別、部位別×年代別割合（上段：男性、下段：女性）





※ 女性の子宮、卵巣・附属器、脳の区分は労働者年齢（64歳以下）の割合が高い傾向を示しており、他は、性別に限らず65歳以上の割合が高くなっています。

グラフ10 部位別のステージ割合



※ いずれの部位でも、早期がんから進行がんまでの診療実績があり、様々な症例に対応できる施設となっております。